

デジタル祭壇システム

サービス比較提案資料

スマートシニア「デジタル祭壇」vs 他社
寺院・霊園・納骨堂向けDX総合パートナー提案

2026年4月

はじめに — 本提案の考え方

「デジタル祭壇」は、参拝ブースの演出にとどまらず、寺院・霊園の経営全体をDX化する総合プラットフォームです。

納骨堂の檀家管理(納骨・供養)システムを無料で付帯し、年間36万円相当の運営コストを実質削減します。また、カード発行のオプション化・検索のみによる参拝対応により、初期投資を従来型の1/5以下に抑えることが可能です。

1. 各社サービス概要

スマートシニア株式会社	他社(従来型)
デジタル祭壇	デジタル参拝システム
納骨堂・位牌堂向けのクラウド型デジタル祭壇。初期投資を大幅に抑えながら、檀家管理・参拝・無人運営までをワンストップで提供。樹木葬、合葬墓、ペット墓、追悼サイト等への横展開にも対応する寺院DX総合プラットフォーム。	墓所・納骨堂向けのオンプレミス型参拝システム。本物の墓石にモニターを組み込むなど物理的演出を重視。ICカードによる受付管理から参拝ブース演出まで一体提供するが、ブース数に比例して費用が増加する従来型の課金体系。

2. 主要スペック比較表

比較項目	スマートシニア デジタル祭壇	他社(従来型)
インフラ形態	クラウド型	オンプレミス(専用機器)
初期費用	99万円～(定額)※ブース数に関わらず同一料金	150万円～ / 1台※ハードウェア代別途

比較項目	スマートシニア デジタル祭壇	他社(従来型)
ブース追加コスト	追加費用なし(定額)	1台ごとに追加費用が発生
参拝方式	タッチカード + 検索のみでも参拝可能	カード or QRコード必須
カード発行コスト	オプション化で大幅削減(不要な場合は発行なしで運用可)	必須(初期コストに含まれる)
檀家管理システム	基本版が無料付帯(年間36万円相当)	別途有償
自動化範囲	照明・電子香炉・施錠・監視カメラまで対応	受付・参拝案内・混雑管理
無人運営	完全対応	一部対応
保守・アップデート	自動(クラウド側で対応)	都度対応(個別対応)
周辺事業の展開	樹木葬・合葬墓・ペット墓・追悼サイトまでワンストップ	参拝システムに特化
対象施設規模	小～中規模に特に最適(大規模にも拡張可能)	中～大規模向け
導入実績	世界70万人以上のメモリアル提供実績	国内数十拠点

3. トータルコスト比較(TCO)

参拝システム単体の価格差に加え、檀家管理システム(年36万円相当)の無料付帯と、カード発行オプション化により、トータルコスト(TCO)では更に大きな差が生じます。

コスト項目	試算条件	スマートシニア	他社
参拝システム初期費用	5ブース想定	99万円	約750万円～
ハードウェア費用	5台分	標準構成に含む	別途見積
カード発行コスト	オプション化	0円(不要選択可)	必須費用
檀家管理システム	年間	0円(無料付帯)	約36万円 / 年
5年間の檀家管理費	参考試算	0円	約180万円
概算TCO(5年)		99万円～	930万円～

※ 5ブース・5年運用を想定した概算試算。HW費用・保守費用は除く参考値。実際の費用は個別見積もりによります。

4. 貴施設にとっての3つの決定的メリット

①

初期投資を従来比1/5以下に圧縮

99万円の定額制・ブース数不問・カード発行オプション化の3点により、従来型で数百万円規模だった初期投資を圧倒的に低減。資金に余裕のない中小規模の寺院・霊園でもデジタル化に踏み切れる設計です。

②

檀家管理システム(年36万円相当)が無料

納骨・供養・檀家情報管理など、別途有償で導入すれば年間36万円以上かかる管理ソフトを基本版として無料提供。参拝システムと一元管理でき、日常業務の効率化と運営コスト削減を同時に実現します。

③

運営の無人化・省人化で人件費を大幅削減

照明・電子香炉・施錠・監視カメラ・空調までスマート機器で自動制御。住職・職員の負担を大きく軽減し、後継者不足・人手不足という寺院業界の構造的課題に直接アプローチします。

5. メリット・デメリット(PRO / CON)

■ スマートシニア「デジタル祭壇」

メリット(PRO)	デメリット(CON)
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 99万円定額・ブース数不問で、初期投資が従来比1/5以下 ✓ カード発行オプション化で更なる初期コスト削減 ✓ タッチ式カードに加え、検索のみで参拝も可能な柔軟な運用 ✓ 檀家管理システム(年間36万円相当)が無料付帯 ✓ クラウド型で保守・アップデート負担なし ✓ 照明・香炉・施錠・監視カメラまで自動化、無人運営可能 ✓ 樹木葬・合葬墓・ペット墓・追悼サイト等へ横展開可能 ✓ 世界70万人以上のメモリアル提供実績 	<ul style="list-style-type: none"> ✗ クラウド依存のためネット障害時の対策が必要(別途BCP対応オプション検討可) ✗ 本物の墓石との物理一体型製品は非対応 ✗ 月額・年額ランニングコストは個別見積

■ 他社(従来型デジタル参拝システム)

メリット(PRO)	デメリット(CON)
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 本物の墓石とモニター一体型の物理的演出が可能 ✓ ICカード・QRコードによる受付管理機能 ✓ オンプレ型のため閉域ネットワークでの運用が可能 ✓ 国内での導入事例あり 	<ul style="list-style-type: none"> ✗ 1台150万円～＋ハードウェア代が別途必要 ✗ ブース数が増えるごとに費用が比例して増大 ✗ カード発行が必須で初期コストが高い ✗ 檀家管理システムは別途有償 ✗ オンプレ型のため保守・更新コストが継続発生 ✗ 周辺事業(樹木葬・ペット墓等)への展開は別システムが必要

6. 貴施設で導入を推奨する理由

寺院・霊園のお悩み	デジタル祭壇による解決
初期投資が高くDX化に踏み出せない	99万円定額・カード発行オプション化で投資リスクを最小化
檀家管理システムの導入費用が別途必要	基本版を無料付帯(年36万円相当の運営コスト削減)
後継者不足・人手不足で運営が困難	照明・香炉・施錠・監視まで自動化で無人運営対応
将来、樹木葬やペット墓も展開したい	同じ基盤で横展開可能、ベンダー1社で完結
ブース数を柔軟に増やしたい	ブース数に関わらず定額でスケール可能
参拝者の高齢化でカード操作が難しい	検索のみで参拝可能、カードは任意選択

【注記】

- ・本資料の金額は概算・参考値であり、実際の費用は個別の見積もりによります。
- ・TCO試算は5ブース・5年運用を想定した参考値です。ハードウェア費用・個別要件は含んでおりません。
- ・檀家管理システムは基本版の無料提供であり、カスタマイズ等は別途ご相談ください。
- ・「他社」は業界標準的な従来型デジタル参拝システムの公開情報をもとにした参考比較です。